

NPO 法人 海浜の自然環境を守る会ニュース

第74号 2023年3月15日

663-8143 西宮市枝川町19-10 甲子園浜自然環境センター内 甲子園地区埋立事業対策協議会気付

<http://www.npo-koshienhama.com/>

甲子園浜を見守る尾崎さん

2020年4月から国設浜甲子園鳥獣保護区管理員をしております尾崎雄二です。浜甲子園には年間50回ほど巡視に伺わせて頂いております。今回は海浜の自然環境を守る会ニュースに寄稿させて頂く機会をいただき誠に感謝しております。

まずは自己紹介をさせていただきます。昭和40年生まれで、宝塚市で育ちました。外資系医療機器メーカーの日本法人で働き50歳を期に早期退職し、伊丹市の昆陽池公園で昆陽池公園野鳥観察グループ「チームK」を妻と共に主宰し、市民の皆様自然の素晴らしさを少しでも感じていただければと日々活動しております。また兵庫県からは自然保護指導員として委嘱を受け伊丹市の担当もしております。

前任者の二河さんとお話を少し。二河さんには私が若い頃(30年ぐらい前)から大変お世話になって色々な場所へバードウォッチングにご一緒させて頂きました。そして色々教えていただきました。今のようになんでもかんでもインターネットで調べられる時代ではありません。野鳥の見方、その鳥が何という種類なのかを知る方法、マナーやモラルといった事など、多くの事を学び、二河さんはまさに師匠のような存在でした。そんな二河さんから鳥獣保護区管理員を引き継いで欲しいとの依頼をいただき、自宅から離れており悩みましたが断り切れずお受け致しました。引き継ぎをさせていただいたその年にとても残念でしたが、二河さんは突然お亡くなりになりました。

今、思えば二河さんが長年愛した

浜甲子園に関わる事ができて本当に良かったと思っております。



巡視中の尾崎さん 2022.11~2023.02
浜甲子園飛来データ
作成：尾崎雄二氏



さて本題の浜甲子園の野鳥の状況ですが、この冬も多くの水鳥が浜甲子園には飛来しております。11月から2月末までの水鳥の最大羽数を多い順に見てみると、ホシハジロ 1585羽(12月下旬)、

コガモ 395羽(2月初旬)、ヒドリガモ 139羽(2月下旬)、カンムリカイツブリ 104羽(12月初旬)、ハシビロガモ 95羽(12月中旬)、スズガモ 78羽(2月初旬)、オカヨシガモ 64羽(2月中旬)、オナガガモ 52羽(2月中旬)、などなど。種類によってその数の増減傾向が違っていることも面白いですね。またバードウォッチャーに人気のウミアイサ、ホオジロガモも少数ではありますが今年も健在です。

そして11月28日には浜甲子園としては大変珍しい雁の仲間のマガン(幼鳥)が飛来しました。→



撮影：尾崎雄二氏

大きな声で鳴きながら西から飛来し、センター前を横切って砂浜に少しの時間だけ滞在。その後すぐに東へ飛び去ってしまいましたが、感動的な出会いでした。

野鳥は生態系の消費者・高次消費者です。その野鳥を継続的に観察しその種類数・個体数動向を把握することは自然の復旧や人為的な創出作業を評価する指標になり、自然環境の保全・再生への重要な取り組みの一つであると考えております。今後も浜甲子園鳥獣保護区における巡視を通じて調査・観察を続けていき、少しでも自然環境の保全に関わりたいと考えておりますので、何卒よろしくお願いたします。

令和4年度	11/4	11/16	11/28	12/3	12/15	12/29	1/7	1/18	1/31	2/3	2/17	2/28
マガン	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0
オカヨシガモ	5	42	38	32	63	58	61	38	47	47	64	56
ヨシガモ	0	1	2	1	0	0	1	1	1	1	1	1
ヒドリガモ	45	72	98	65	118	74	81	78	68	66	123	139
マガモ	3	5	0	0	6	7	14	6	8	2	4	3
カルガモ	0	2	1	5	2	2	3	6	5	8	22	16
ハシビロガモ	19	56	57	68	95	45	67	51	82	69	64	56
オナガガモ	3	10	5	5	15	3	23	24	37	41	52	44
コガモ	224	248	221	312	346	216	320	302	345	395	298	305
ホシハジロ	950	1150	1250	1051	1250	1585	913	852	789	665	895	609
キンクロハジロ	2	10	10	9	1	24	8	4	2	4	1	4
スズガモ	8	16	4	9	2	12	30	56	66	78	74	44
ホオジロガモ	0	0	0	0	5	5	7	7	10	6	3	3
ウミアイサ	0	4	0	1	6	3	3	4	2	2	4	4
カンムリカイツブリ	25	66	73	104	22	9	5	3	2	3	4	1
ハシロカイツブリ	0	2	3	5	5	5	5	3	7	11	7	10
合計(羽数)	1284	1684	1763	1667	1936	2048	1541	1435	1471	1398	1616	1295

♥ いいもの見つけ ♥

コフキナゲナワイソギンチャク(新称)

2022年6月13日「大阪湾生き物一斉調査」の甲子園浜調査をしている時に環境センター前の磯に不思議なイソギンチャクがたくさんいました。甲子園浜でよく知られている暗緑色の「タテジマイソギンチャク」とは全く違います。調査講師の阪口先生が、採集した個体を直ぐに内田紘臣博士(串本海中公園センター名誉館長)に届けてくださいました。このイソギンチャクはヨーロッパではよく知られている「コフキナゲナワイソギンチャク」であることが判明しました。



大阪港や神戸港のように外国との間を船が行き来していることからこのイソギンチャクがやってきたと推察されます。海中に幼生を吹き出すところから、「仔吹き投げ縄磯巾着」と和名をつけたそうです。生息域のヨーロッパ以外での発見は南アフリカとここ甲子園浜が二番目だと内田先生の報告にありました。



潮が引いた磯を探索すると、口の周りがオレンジ色をしていますから容易に見つけることができます。観察していると水槽の中でからだを2~3cmも伸ばして触手を広げて餌を探しています。小エビを入れると触手を折りたたみながら小エビを器用に取り込んでいました。

向山 裕子

活動報告

- ・1月8日(日)「甲子園浜で凧をあげよう」53名参加



- ・2月4日(土)「冬の鳥観察会」36名参加



- ・2月11日(土) 山西良平氏セミナー
「加古川河口の干潟と塩性湿地」17名参加

- ・2月24日(金)「まちづくりフォーラム」
パネリストとして岸川由紀子さん参加



- ・2月25日(土) 西宮自然保護協会例会参加
- ・3月5日(日) ボーイスカウト西宮第9団カブ隊対応

- ・2月22日(水)~26日(日)「EWC環境パネル展」
作品を出展した会員2名が入賞しました。

岩崎博子さん作品

西宮自然保護協会賞→



向山裕子さん

コミュニティ協会賞→



活動予定

- ・3月26日(日) 海浜清掃
- ・5月6日(土) 令和5年度総会、シギ・チドリ観察会
- ・5月14日(日) 甲子園浜の外来植物観察会
講師：水田光雄氏